

「周南市まちづくり総合計画」は、周南市のまちづくりの基本方針を定めた平成17年度からの10年間の計画です。平成22年度からの5年間は、後期基本計画に基づき、様々な施策を展開していきます。

「らしさ」溢れるまちづくり

安心安全・いのち最優先

安心・安全、いのちを守ることを最優先の政策として取り組む

自助・共助・公助

自助を基本に、地域社会での共助、困難な部分は、行政による公助へ

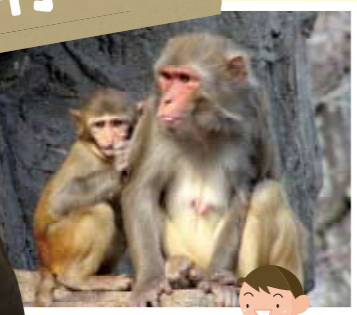
創発的なまちづくり

行政主導のトップダウン型から、市民主体のボトムアップ型へ

選択と集中

「あれもこれも」の行政運営から、優先度の高い施策・事業の実施へ

トータルでバランスのとれたまち
周南市



観光 徳山動物園
平成22年(2010年)に開園50周年



産業 臨海工業地域
製造品出荷額等(従業員4人以上の事業所)1兆8,961億8千万円、県内第1位
出所:工業統計調査



教育 公民館
公民館数38館、県内第1位

教育 小・中学校
特色ある教育



福祉 保育所
待機児童「0」

あこがれの周南への出発点



このたび、本市の平成22年度からの新たなまちづくりの展開に向けて、基本的な施策や事業等をまとめた「まちづくり総合計画(後期基本計画)」を策定いたしました。

本市が、先人たちから受け継いできた高いポテンシャルを十二分に発揮し、確かなまちづくりを進めていくための施策等の方向を示したものが本計画であります。平成26年度までの5年間、限られた財源の中で選択と集中を基本に、特に優先的に取り組むべき重点推進プロジェクトとして、「日本一の安心安全・いのち最優先のまちづくり」を目指す「安心立市」プロジェクト、「ひと」を育てるための基盤をつくる「人財立市」プロジェクトをはじめ、「環境立市」、「産業立市」、「観光・交流立市」など5つの「立市プロジェクト」を推進し、「強い周南」の構築に取り組んでまいります。そして、本市の宝であり、かけがえのない財産である中山間地域を「いのち育む里」と名付け、新たな地域づくりに向けて「いのち育む里づくりプロジェクト」を展開し、自然や歴史、文化などこれまで育んできた宝を大切にしながら、活力溢れる地域の再構築に取り組んでまいります。

こうした重点推進プロジェクトをはじめとする取り組みを原動力として、「強い周南」、「優しい周南」、そして、「あこがれの周南」へと、次代へ繋ぐまちづくりを進めてまいりますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定にあたりまして、多くの市民の皆様からご意見、ご提案を賜りましたことに感謝申し上げます。

周南市長 島津幸男

周南市紹介

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地を背に、南に瀬戸内海を望み、その海岸線に沿って大規模工業が立地し、それに接して東西に比較的幅の狭い市街地が続いています。北側には、なだらかな丘陵地が広がり、その背後の広大な山稜には農山村地帯が散在しています。

また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されており、美しい自然景観を有しています。

気候 周防山地以南は温暖少雨の瀬戸内型、その以北は内陸型

面積 656.32平方km(東西約37km、南北約39km)
(平成21年(2009年)10月1日国土地理院調べ)
東京23区(621.97平方km)、シンガポール(707平方km)とほぼ同等

人口 総計153,557人(67,462世帯)
男74,123人 女79,434人
(平成22年(2010年)1月31日現在)